

【延期のお知らせ】

こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾 2019  
報告会を延期します



令和元年 10月 15日

郡山市政策開発部

政策開発課

担当：高橋 諒

ターゲット：17.17 TEL：924-2021

SDGs ターゲット 17.17 「効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

裏面のとおり、10月8日（火）付けで「こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾 2019 報告会」の開催についてご案内しておりましたが、台風 19 号の影響により延期いたします。

なお、開催日が決まり次第、お知らせいたします。

再配布

※ 延期いたします



郡山市報道資料

Press Release



若手職員が新たな施策を提言！

こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾 2019

報告会を開催します



ターゲット: 17. 17

令和元年 10月8日

郡山市政策開発部

政策開発課

担当：高橋 諒

TEL：924-2021

SDGs ターゲット 17.17 「効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

こおりやま広域圏の熱意ある若手職員が 4 つの施策分野をテーマとし、新しい発想のもと実効性のある施策を提言します。

- 1 日時 10月18日(金) 午後1時30分～午後3時40分
- 2 場所 市役所特別会議室(本庁舎2階)
- 3 研究塾生 こおりやま広域圏関係市町村から公募した若手職員(23名)  
※ 裏面「塾生一覧」のとおりです。
- 4 出席者 こおりやま広域圏市町村長、職員等(約200名)  
(須賀川市長、二本松市長、田村市長、本宮市長、鏡石町長、三春町長、郡山市長、各市町村職員等)
- 5 発表テーマ【1班】健康福祉分野 『0次予防による健康促進について』  
【2班】人口交流分野 『関係人口の創出について』  
【3班】地域経済分野 『シェアリングエコノミーによる地域課題解決』  
【4班】ICT分野 『農業×ICTの推進について』  
※ 提案の概要は、別紙のとおりです。

#### <こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾>

2018年度からこおりやま広域圏の若手職員を対象に、政策形成能力の向上と、新しい発想による知恵と工夫を活かした実効性のある施策創出を目指し調査研究に取り組み、毎年10月を目途に、研究成果をまとめ提言、発表を行っています。

## こおりやま広域圏 チャレンジ「新発想」研究塾2019 塾生一覧

	市町村名	部局	所属	職名	氏名	
<b>1班 健康福祉分野 『0次予防による健康促進について』</b>						
1	郡山市	財務部	契約課	主事	遠藤 駿介	
2	郡山市	都市整備部	区画整理課	技査	古河 與一	副班長
3	郡山市	教育総務部	生涯学習課	主事	小栗 ひとみ	
4	本宮市	保健福祉部	高齢福祉課	主査	白坂 勘	
5	鏡石町		教育課	主査	塚原 健司	班長
6	三春町		財務課	主事	岩崎 友也	
<b>2班 人口交流分野 『関係人口の創出について』</b>						
1	郡山市	総務部	防災危機管理課	主事	阿部 晃貴	
2	郡山市	農林部	農業政策課	主事	佐藤 裕太	
3	郡山市	建設交通部	建築課	技査	下山 覚行	副班長
4	田村市	教育部	教育総務課	主事	櫻田 香澄	
5	三春町		住民課	主事	渡部 薫	班長
<b>3班 地域経済分野 『シェアリングエコノミーによる地域課題解決』</b>						
1	郡山市	総務部	行政マネジメント課	主査	増子 晶彦	班長
2	郡山市	税務部	資産税課	主事	浜尾 優希	
3	郡山市	生活環境部	3R推進課	主事	遠藤 沙織	
4	須賀川市	産業部	商工労政課	主事	宮澤 遼太	副代表
5	田村市	総務部	財政課	主事	玄葉 裕樹	副班長
6	三春町		税務課	主事	冨塚 俊樹	
<b>4班 ICT分野 『農業×ICTの推進について』</b>						
1	郡山市	市民部	セーフコミュニティ課	主査	丸山 晃史	代表
2	郡山市	文化スポーツ部	国際政策課	主査	小川 俊介	班長
3	郡山市	保健福祉部	障がい福祉課	主事	渡邊 真理恵	副班長
4	二本松市	総務部	秘書政策課	主任主事	立川 慶一	
5	田村市	保健福祉部	社会福祉課	主事	橋本 啓貴	
6	本宮市	教育部	国際交流課	副主査	宇田 寛之	

## こおりやま広域圏 チャレンジ「新発想」研究塾 2019 提案概要

(※現時点での概要であり、追加・変更となる場合があります。)

<b>1班</b>	<b>健康福祉分野 『0次予防による健康促進について』</b>
概要	<p>人生を「元気に」、「楽しく」送るためには健康でなければなりません。しかし、健康のために運動に取り組もうとしても、「1人では長続きしない」、「運動する場所も時間もない」といった基礎的な環境整備が課題であると考えました。</p> <p>そこで、「0次予防」(本人がさほど努力や我慢をしなくても健康になってしまう環境づくり)に着目し、ハード面(職場での環境)・ソフト面(人々のつながり)について提言することで、広域圏から健康を発信していきます。</p>
<b>2班</b>	<b>人口交流分野 『関係人口の創出について』</b>
概要	<p>人口減少・少子高齢社会において、「地域や地域の人々と多様に関わる」という新しい考え方「関係人口」の創出について考えました。</p> <p>多様なプレーヤーによるネットワーク連携、高度なAI機能による情報マッチング等とおして、こおりやま広域圏の「持続可能な環境づくり」と「アクティビティ」を連携させ、誰もが様々な関わり方ができる仕組みづくりを提案します。</p>
<b>3班</b>	<b>地域経済分野 『シェアリングエコノミーによる地域課題解決』</b>
概要	<p>シェアリングエコノミーは、インターネットやスマートフォンの普及する現代社会に即した、人、モノ、場所などを共有し、新たな価値を創出する経済システムであり、都市部を中心に急速に拡大しています。</p> <p>このシェアリングエコノミーをこおりやま広域圏の実情に合わせて活用することにより、交通事情問題などの広域圏内に共通する課題の解決や、広域圏内に潜在的に存在するストックを活かしていく取り組みを提案します。</p>
<b>4班</b>	<b>I C T分野 『農業×ICTの推進について』</b>
概要	<p>農業従事者の顕著な高齢化や人口減少に伴うあらゆる課題に着目し、農作物の生産から販売までの一環の流れでスマート農業を積極的に推進し、AI・IoTやビックデータを活用した「楽しく・かっこよく・稼げる農業」をこおりやま広域圏の農業振興につなげます。</p> <p>また、若者が未来の農業に関心を抱くような「ワクワク」する事業を提案し、持続的な農業振興の側面から、こおりやま広域圏における関係人口の増加を図ります。</p>

# こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾2019 事業概要

## 1 特徴等

- (1) 班体制及び塾生数を昨年度の2倍（4班20名）に拡大
- (2) 広域的な課題解決となるテーマの設定
  - ① 健康福祉分野 ② 人口交流分野 ③ 地域経済分野 ④ ICT分野
- (3) 提案は事業実施に結びつけるように検討を進める。(実績18件(2013年～))

## 2 研究塾の構成

- (1) 庁内およびこおりやま広域圏関係市町村から公募した概ね35歳以下の若手職員23名（1班5～6名とした4班編成）（20名募集のところ23名応募）
- (2) 今年度は、郡山市12名、須賀川市1名、田村市3名、本宮市2名、鏡石町1名、三春町3名、二本松市1名で構成

## 3 スケジュール

- (1) 各班、設定したテーマについて、調査研究を進める。
- (2) 調査研究は、週1回・2時間程度。その他、ウェブ会議等を活用した調査研究を実施。

4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬
研究塾生募集	塾生決定	開講式 5/17			全体会①			先進地視察	中間報告会 8/23		全体会②		報告会開催 10/18
													

## 4 研究成果

- (1) 報告会によるプレゼンテーションの実施
- (2) 調査研究のまとめ及び報告書の提出
- (3) 提言のあった施策を具体化するための検討を行い、次年度以降の予算に反映

## 5 これまでの成果

- ・イクメンハンドブックの発行
- ・移住・定住ポータルサイトの開設
- ・育パパサポート奨励事業
- ・パパママ応援手帳の作成
- ・官民連携ポータルサイトの開設 など